

## 黒川の工事現場（黒川取水・放流工）から湧出した 地下水等の処理について

独立行政法人水資源機構思川開発建設所が、栃木県鹿沼市板荷<sup>いたが</sup>で建設を進めている導水施設（黒川取水・放流工）の立坑<sup>たてこう</sup>工事の現場において、地下水及び濁水処理設備の脱水ケーキ<sup>\*</sup>に地下水及び土壌の環境基準を上回るふっ素が含まれていることがわかりました。

このため、立坑内に貯留している地下水の処理方法について、栃木県西環境森林事務所と調整した結果、安全性を確認したうえで適切に河川に排水することとしますのでお知らせします。

また、脱水ケーキの処理方法は検討中のため、改めて栃木県西環境森林事務所を確認し、処理方法が決まり次第お知らせします。

※脱水ケーキとは濁水処理設備の運転により発生する建設汚泥処理土のことです。



令和2年12月11日

独立行政法人水資源機構 思川開発建設所

### 発表記者クラブ

水資源記者クラブ  
栃木県政記者クラブ  
鹿沼市政記者クラブ

### 問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 思川開発建設所 導水工事課長 <sup>かじたに</sup>梶谷

住所：栃木県鹿沼市口栗野839-2番地

電話：0289（85）1110

## 【別 紙】

### 1. 主な経緯

- 10月15日 黒川取水・放流工の立坑内で湧出した地下水、立坑内の掘削土砂、地上部の掘削土砂、脱水ケーキの採取・水質分析を実施。
- 10月28日 地下水及び土壌の環境基準を超えるふっ素を検出。  
⇒立坑内地下水：ふっ素（検出 4.1 mg/L > 基準値 0.8 mg/L）  
⇒脱水ケーキ：ふっ素（検出 5.0 mg/L > 基準値 0.8 mg/L）
- 10月29日 栃木県県西環境森林事務所へ打合せを依頼。
- 11月13日 栃木県県西環境森林事務所において当現場の建設発生土、脱水ケーキ及び立坑地下水の処理方針について打合せ。
- 11月27日 栃木県県西環境森林事務所と立坑地下水の処理方法を協議し了解を得た。
- 12月下旬 工事再開予定  
(12月中旬から安全性を確認した上で河川へ排水)

### 2. 現場内保管状況と今後の処理方法

思川開発建設所発注の「思川開発導水路工事」で建設中の導水施設（黒川取水・放流工）の立坑工事の現場で湧出した地下水及び濁水処理設備の脱水ケーキから、地下水及び土壌の環境基準を上回るふっ素が確認されたため、地下水については河川（黒川）に排水せず立坑内に貯留するとともに、脱水ケーキについては袋詰めし、密閉した状態で場内に保管しています。

今後工事を進めるにあたっては、栃木県県西環境森林事務所の指導に従い、現場内に貯留した地下水のふっ素濃度の測定（排水中 2 回/日の測定）を行い、水質汚濁防止法の適用を受ける「特定施設」の基準に準じ、同法の排水基準値（8mg/L 以下）以下であることを確認したうえで、河川に排水することとします。なお、測定結果が排水基準値を上回った場合は、直ちに排水を中止します。

また、脱水ケーキの処理方法については引き続き検討中ですので、改めて栃木県県西環境森林事務所を確認し、処理方法が決まり次第お知らせします。

### 3. その他

栃木県及び鹿沼市が実施した近隣世帯における井戸水の水質検査については、栃木県において公表されています。

※<http://www.pref.tochigi.lg.jp/houdou/index.html>

位置図



# 思川開発事業

## 1. 事業の目的

洪水調節	水道用水の供給	流水の正常な機能の維持 (異常渇水時の緊急水の補給を含む)
<p>南摩ダム地点の計画高水流量 130m<sup>3</sup>/sのうち 125m<sup>3</sup>/sの洪水調節を行うことにより、他の事業と相まって思川沿川、利根川中・下流の洪水被害の軽減を図ります。</p>	<p>栃木県、鹿沼市、小山市、古河市、五霞町、埼玉県及び北千葉広域水道企業団へ、最大 2.984m<sup>3</sup>/s の水道用水を新たに供給します。</p>	<p>南摩ダムおよび導水路によって、黒川、大芦川、南摩川及び思川の既得用水の補給等、流水の正常な機能の維持と増進を図り、並びに、他の利根川上流ダム群とともに、利根川の既得用水の補給等流水の正常な機能の維持と増進を図ります。</p> <p>また、利根川水系の異常渇水時の緊急水の補給を行います。</p>

## 2. 事業の概要

